

新任教員紹介

建築学科・助教授 渡邊研司

略歴

1961.10 福岡市生まれ
1980.3 福岡県立筑紫丘高校卒業、1985.3 日本大学理工学部建築学科卒業
1987.3 日本大学大学院理工学研究科建築学専攻 修士課程修了
1987.4-1993.6 芦原建築設計研究所勤務（芦原義信主宰） 1989.2 一級建築士登録
1993.9 Architectural Association Graduate School History and Theory of Architecture Course
留学（イギリス・ロンドン）
1998.7 同 Advanced Research Course (PhD) 修了、AA Graduate Diploma
1999.9-2005.1 連健夫建築研究室（一級建築士事務所）勤務
2000.2 東京大学大学院論文博士、博士（工学）
2005.4 現職



担当科目

建築入門英語（共担）、建築デザイン1・2（共担）、住宅論、現代建築思潮、設計研究特論Ⅲ

研究活動内容

イギリス 20 世紀の建築・文化に関する研究

19 世紀におけるイギリスの建築・都市に関する研究は、イギリスを近代思想の誕生と産業革命による技術革新の場とする意味において、非常に多くの研究が、19 世紀末美術、文学領域を中心に存在している。しかしながら、20 世紀におけるモダニズム思想、建築の研究は、その保守性と伝統的文化の肯定という側面から研究自体がイギリスにおいても十分とはいえない。この研究は、1920 年代後半からヨーロッパのモダニズム運動の流入、ユダヤ系建築家の亡命によるモダニズム建築の実現、建築教育への科学的側面の促進など、イギリスにおける 1930 年代から 1960 年代までを枠組みとし、それらの革新的意義について考察を行っている。

[参考論文]

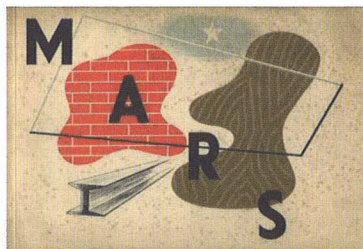
渡邊研司、日本建築学会計画系論文集、第 566 号、pp.193～199、2003 年 4 月 など

建築家村野藤吾に関する研究

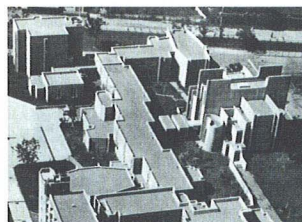
日本の近代建築史において丹下健三と比較される建築家として村野藤吾の存在があげられる。丹下を日本のモダニズム建築の主流と見なすならば、おそらく村野は 19 世紀までの建築の特徴である様式建築の要素を有し、モダニズム建築に対する批判を内包した建築作品を生み出した建築家と捉えることができる。この研究は、村野の後期の転換点となった作品であるルーテル神学大学の設計過程と設計概念など一次資料や関係者への聞き取りを行い、それらを分析することで、村野の建築に対する考え方を考察する。

[参考論文]

渡邊研司、連健夫、日本建築学会関東支部研究報告集、pp.481～484、2003 年 3 月、渡邊研司、連健夫、日本建築学会大会学術講演梗概集（北海道）、pp.469-470、2004 年 8 月 など



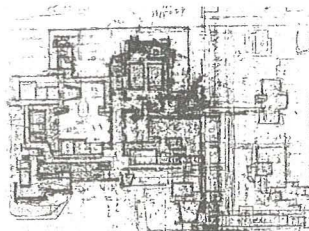
MARS グループによる
新建築展カタログ表紙
1938 年 1 月ロンドン、
ニューバーリントン・
ギャラリー



ルーテル神学大学
1969 年竣工時写真



同展覧会入口インスタレーション
1938 年 Architectural Review
2 月号より



基本設計時
村野によるエスキース図面

設計・研究方法論の研究

設計ならびに研究の方法論に関する研究を行っている。これは、近年学生による設計力、研究力の低下が指摘されており、その原因を探る過程で、設計手法、研究方法論の歴史的な背景を分析した結果、質的建築学というあらたな概念の構築が有効であると考えている。質的建築学とはいったい何を指すのか、そしてそこでは何が問われるのかを探求することがこの研究の目的である。

[参考論文]

渡邊研司、日本建築学会第 6 回建築教育シンポジウム論文集、pp.59~62、2006 年 1 月など

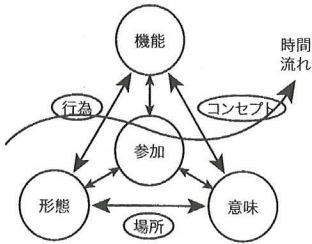
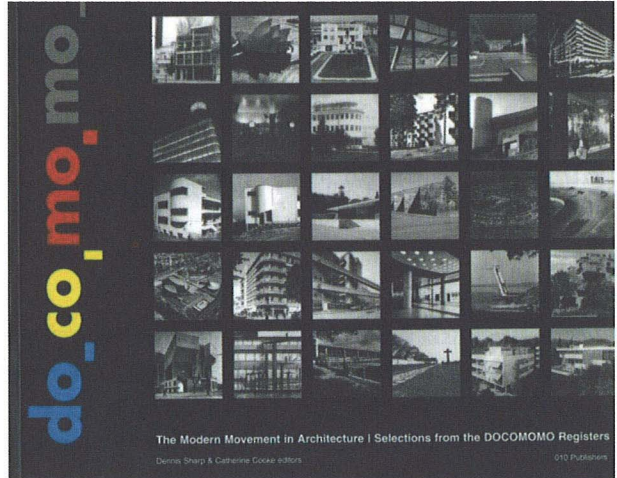


図 0-2 機能と形態と意味を結ぶ参加

延藤安弘他、対話による建築・まち育て 2003 年より



DOCOMOMO に加盟する各国が選定した建築物の出版物 2000 年 Japan 部分担当

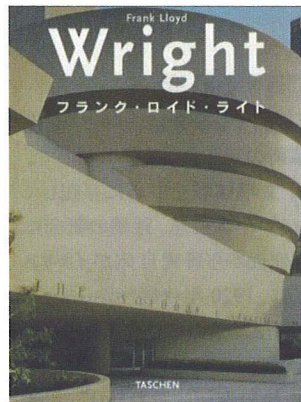
近代建築保存の国際組織 DOCOMOMO(Documentation and Conservation of buildings, sites, neighborhoods of Modern Movement)での研究活動

近年、20 世紀における建築並びに都市環境の保存の活動が国際的に行われており、日本における活動の中心である団体で、主に選定、登録、調査、教育の領域で参加活動を行っている。1996 年以来、二年に一回開催される国際会議において参加、発表を行いながら、日本での選定とそれに関する展覧会、シンポジウムを開催・企画している。また、日本支部が発行するニュース・レターの編集委員としてとりまとめを行っている。

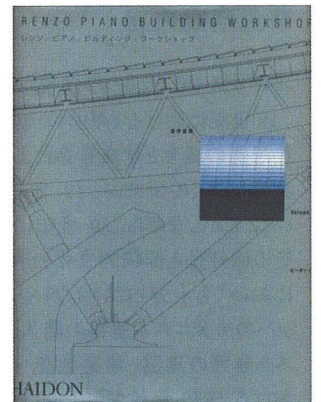
[参考論文]

渡邊研司他、文化遺産としてのモダニズム建築展カタログ、2005 年 3 月など

翻訳ならびに出版



B.B.ファイファー、フランク・ロイド・ライト、タッシェン、2003 年



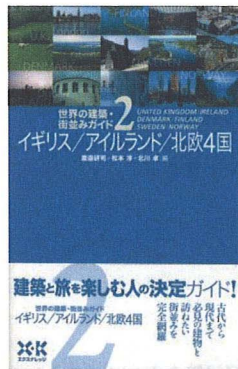
R. P. キヤナン、レンゾ・ピアノ・ビルディングワークショップ 第 3 巻、ファイドン、2005 年



DOCOMOMO Japan 会報 4 号 保存教育への提言



モダン・ムーブメントにおけるスポーツ施設の選定



イギリス/アイルランド/北欧 4 国 世界の建築・街並みガイドブック 2、エクスナレッジ、2003 年